

はじめに

—なぜフランスに留学？

私は、本学に入学する前からフランスに留学したいという思いがありました。なぜなら、高校時代にフランス留学した際、思いもよらない新型コロナウイルスの影響があり、悔しい思いをしたからです。これからやろうと思っていたことができなくなるという経験をし、やりたいことは先延ばしにせず、今やるべきだと学んだからです。

そのため、協定留学の再開の情報を得てすぐ留学することを決めました。

また、フランスの国を選んだ理由としては、大学で持続可能性や開発途上国について学んでおり、bio やマルシェの文化が栄えているフランスの現状を見たいという点と、多くの開発途上国でも使われているフランス語を習得したいという点で選びました。

出発前準備から到着まで

—ビザ申請

最も早く留学に行けるプランを選んだ私は、留学の内定をいただいてから出発までの期間が3カ月しかありませんでした。しかし、フランスのビザ申請は時間がかかることはよく知られており、インターネットでも3カ月前から申請することがよく勧められていました。また、留学制度が新型コロナウイルスの影響で停止されていたため、手続きを経験したことのある先輩や先生が身近にいないという状況でした。一度は、ビザ申請が間に合わないのではないかと思い、夏出発に切り替えようと考えたほどでした。特に大変だったのは、送金の仕方と提出書類を集めることでした。教務の方々、留学担当の先生が協力してくださり、卒業した先輩からも情報提供をいただくことで無事に間に合うことができました。協力していただいたことに感謝するとともに、自分の経験も次の人の役に立てていきたいと感じました。

—到着までのトラブル

私は出発の前日に航空券を取り直すという事態が起きました。なぜそのようなことになったかという、ビザの入国許可日より前に到着する航空券を手配してしまっていたからです。もしビザの入国許可日より前にフランスに入国すると、長期ビザでの入国にならず、観光ビザでの入国となってしまいます。観光ビザで入国した場合、許可日の前日までにシェンゲン圏外（イギリスなど）に一度出てから、フランスに再入国しないと、長期ビザが有効化しないことが分かりました。

ビザを申請する際は、渡航日と授業開始日をよく考えて申請する必要があると学びました。フランスで出会った友達もビザの期間に問題があったと話していたため、入国日には十分注意してビザの申請が必要だと思いました。

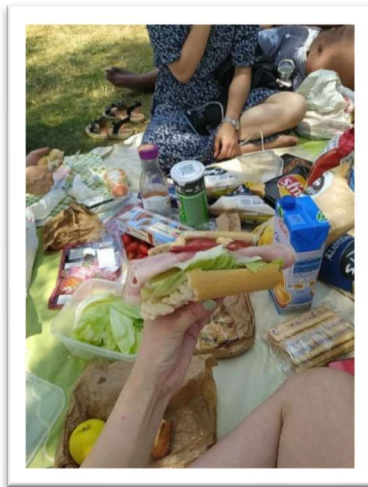
フランスでの生活

一様々な国籍の友達

私が通っている大学はフランス語を学ぶための学校であるため、クラスには様々な国籍の生徒がいます。特に、今はウクライナの生徒がたくさんいます。例年ではアジア圏とアメリカの生徒がほとんどであるため、ウクライナの友達ができるとは思っていませんでした。同じクラスにウクライナの生徒がたくさんいるのですが、彼らの言語学習の早さにとても驚かされています。彼らのほとんどは戦争の理由でフランスに来ているため、フランス語を全然知らないところから勉強を始めているにもかかわらず、授業では積極的に発言し、1カ月もたつと話せるようになっていきます。そのスピードに負けられないように頑張っていきたいと思っています。

一寮での友達

私は今、インターナショナルの寮に住んでおり、そこには同じ大学の生徒も多くいます。週末は彼らと出かけることがよくあります。これは湖にピクニックに行ったときの写真です。



ピクニック行こう！となるとそれぞれにパンやスナックを持ち寄りみんなで食べます。彼らは私よりも先に住んでいて街のこともよく知っているののでいろんなことを教えてください。国籍はイラン、ペルー、中国、ベネズエラなどバラバラで年もみんな違います。しかし、それを気にしないで友達でいられることがとても素敵だなと感じています。

学校の授業や生活など今回書ききれなかったことは次回は紹介したいと思います！